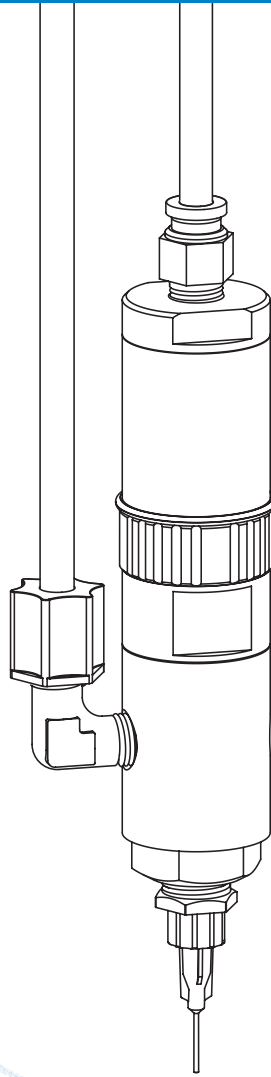


# 725DA-SS / 725DA ピストンバルブ

## メンテナンス・パーツガイド



**重要!**  
このガイドは大切に保管して  
ください。

このガイドは、メンテナンス  
管理者にお渡しください。

ノードソンEFDの取扱説明書のpdf  
ファイルは、[www.nordsonefd.com/jp](http://www.nordsonefd.com/jp)  
からダウンロードできます



## バルブの分解組立手順

**注意:** 725DA-SS (7021014)、725DA (7021010)、725DA-A (7021011)に関しては、ストローク調整を全開(2回転)にしてください。この状態で、再組立の手順を行ってください。

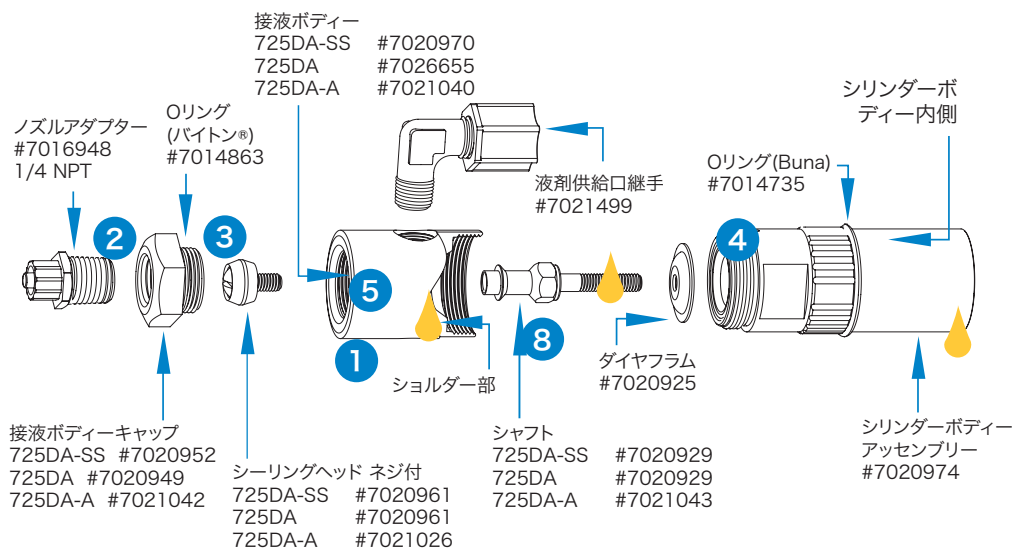
### ⚠ 注意

損傷を防ぐために、バルブは液剤吐出口側から分解してください。

1. 取付穴に取り付けロッドをねじ込む。
2. 接液ボディーキャップを取り外す。
3. シーリングヘッドを取り外す。\*
4. シリンダーボディーのレンチフラットをレンチで挟み、回転させて接液ボディーを緩める。
5. 接液ボディーを取り外す。\*

6. エア入力チューブをエアシリンダーキャップのプッシュイン継手から取り外す。
7. キャップのエア入力穴に1/8"六角レンチを差し込み、シャフト固定ネジを2回転させる。\*
8. シャフトに六角レンチを差し込み、ネジを緩ませ、シャフトとダイヤフラムを取り除く。\*
9. シリンダーキャップをシリンダーボディーからネジを緩ませて取り外す。\*
10. ピストンとバネを取り除く。

**注意:** シリンダーボディーアセンブリのストローク調整リングを取り外すことはできません。このアセンブリを修理する必要がある場合は、ノードソンEFDに返却して修理を受けてください。



**注意:** バルブを再組立する前に、全てのパーツを洗浄し、Oリング、シーリングヘッド、ダイヤフラムを交換して下さい。

ネジが損傷していないか、ピストンピンが歪んでいないか、接液ボディーシートに穴がないか確認します。

### ⚠ 注意

液剤供給口継手をバルブにねじ込み過ぎないように注意してください。ピストンシャフトの破損につながり、液剤の漏れ、ディスペンス性能の低下もしくはバルブ破損の原因となる場合があります。

分解した順番の反対に再度組み立てます。下記に示されたパーツをメンテナンスキットに入っている、ナイ潤滑油#865で潤滑します。

## メンテナンスキット#725DA-RK (7021013)

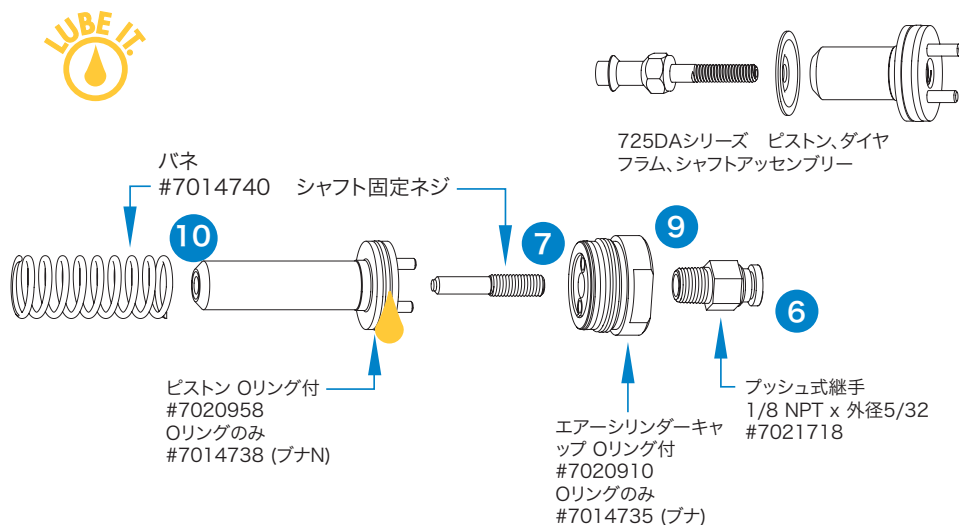
キット内容: シリンダーボディーおよび接液ボディーキャップ用Oリング、ダイヤフラム、ネジ付きシーリングヘッド、潤滑油

### 使用する工具:

- 1/8" 六角レンチ
- 1/4" マイナスドライバー
- 3/8" メガネレンチ
- 8" モンキーレンチ 2個
- 1/8" NPT オスパイプ、あるいはロッド

手順番号	パーツ	ニュートン・メートル	(インチポンド)
3	シーリングヘッド用ネジ	1.69 N-m	(15インチポンド)
5	接液ボディー	6.78 N-m	(5フィートポンド)
7	シャフト固定ネジ	2.82 N-m	(25インチポンド)
8	シャフト	1.69 N-m	(15インチポンド)
9	エアシリンダーキャップ	10.8 N-m	(8フィートポンド)

\*左ページの手順で、\*が付いている手順に関しては、上記表に示されるトルクで組み立ててください。



## トラブルシューティング

### 液剤が吐出されない

- ・バルブ駆動エアの圧力が低すぎる場合、バルブは開きません。エア圧を最低でも 0.48MPa/4.8bar (70psi) まで上げてください。
- ・タンクのエア圧が充分でない。エア圧を上げてください。
- ・ノズルが詰まっている。ノズルを交換してください。
- ・ストローク調整が閉じている。ストローク調整を開けてください。
- ・接液ポディー内で液剤が固化している。
- ・接液ポディーを洗浄してください。
- ・液剤供給チューブが取付穴に取り付けられている。取り外して正しく取り付けてください。

### バルブが閉じたあと、液漏れが見られ、徐々に止まる

- ・この現象は、接液ポディーの吐出部にエアが溜まっている、あるいは液剤にエアが混入している場合に見られます。エアはバルブが閉じたあとに膨張し、エアが大気圧に達するまで液剤を押し出します。
- ・エアが見られなくなるまで液剤を定量で吐出し、パージを行ってください。ゲージの小さいノズルを使用している場合、ノズルアダプターからエアが抜けるのに十分な液剤が吐出しない場合があります。そのときは、ノズルを取り外してください。
- ・液剤にエアが混入しているときは、吐出を行なう前に脱泡してください。

**注意:** ストライプや線引きのアプリケーション、バルブ開放時の急激な液剤の流れを防ぐため、低めの入力エア圧設定を推奨します。

### バルブが閉じたあと、液漏れが一定の間隔でみられる

- ・一定間隔で液漏れする場合は、液剤の粒子の堆積、あるいは、シーリングヘッドの摩耗のため、シーリングヘッドが完全に閉じないことが考えられます。メンテナンス方法の説明に従い、シーリングヘッドを交換してください。
- ・液剤供給口継手をバルブにねじ込みすぎるとピストンシャフトが破損し、液剤漏れの原因となる場合があります。液剤供給口継手は、必ず正しく設置するようご確認ください。

### バルブ開閉のレスポンスが遅い

- ・バルブのレスポンスは駆動エアチューブの長さや径に関係しています。ノードソンEFDのバルブには、内径4mmの1.5mのチューブが同梱されていますが、これより長い、あるいは太いチューブをご使用になると、レスポンスタイムに影響がでます。違う長さ、内径のチューブを使用していないか確認してください。

### 駆動エア入力口下の通気孔から液剤が漏れる

- ・駆動エア入力口のすぐ下に、放熱用の通気孔がありますが、ここから液剤が出るのは、ダイヤフラムが破損していることが考えられます。メンテナンスガイドに従って交換して下さい。

### 吐出が不安定

- ・バルブ駆動や液剤タンクへの供給エア圧が一定ではない、あるいはバルブ駆動エア圧が0.48MPa (70 psi)未満の場合、液剤吐出が不安定になる場合があります。エア圧が安定しており、駆動エア圧が0.48MPa (70psi)に達しているかご確認ください。
- ・バルブの開放時間は一定である必要があります。バルブコントローラーが正しい出力を行なっているかご確認ください。



ノードソン EFDは、世界40ヶ国に販売・サービス拠点を持っています。詳細は [www.nordsonefd.com/jp](http://www.nordsonefd.com/jp) をご覧ください

**日本**  
+81-3-5762-2760; japan@nordsonefd.com

**グローバル**  
+1-401-431-7000; info@nordsonefd.com

バイトンは、E.I.DuPontの登録商標です。  
WAVEデザインは、Nordson Corporationの登録商標です。  
©2023 Nordson Corporation 7026827 v062423